

想い

一二揚

四 中 五 ○ 工 中 工 五 合 老 上 ○ 四 老 四 五

サ ャ カ チ チ ミ リ バ ウ ビ イ ダ ス サ
四 中 五 七 五 工 中 工 七 五 ○ 四 中 五 七

ム カ シ
工 上 老 四 合 老 上 ○ 老 四 五 七 四 合
カ タ

ラ タ ル ハ マ ヌ ワ シ リ グ リ サ
老 四 老 四 中 七 五 五 七 八 五 七 五 中 四

ワ シ リ グ リ サ
四 五 合 老 上 ○ 老 上 四 四 中 五 ○

工 中 工 五 合 老 上 ○ 四 老 四 五

一、清か月見りば 覚い出すさー昔
語らたる浜ぬ忘り苦りしさー
<http://music.geocities.jp/kimura>
二、たといままならん二人がなかやてん
何時か慰みに 行逢て見欲しやー
行逢て見欲しや

seilil /
omoi.mp3

三、里が語るままに 語れぶさーあしが
もしか口端に掛からばちやすが
四、義理恥ゆ守てい 肝内に染みてい
一花ある花や 散りて逸さ

五、花や散りらわん 二人が志情や
深く思染みて 四季ゆ待たな